

# 熊本県言語聴覚士会

会報

# KSTNET

第34号 平成22年2月10日発行



## ごあいさつ

熊本県言語聴覚士会 会長 小菌真知子

2010年が始まりました。本年もよろしくお願い申し上げます。

2009年9月には、熊本県言語聴覚士会の創立十周年を無事に迎えることができました。この節目の年は、これまでの10年間に行ってきたことを振り返るとともに、これからのすべきことを考える良い機会でした。

記念行事開催にあたっては、熊本県、熊本市をはじめ、医療、保健、福祉にかかわる多くの団体や当事者、ご家族の皆様の温かいご支援を頂きましたことを心より感謝申し上げます。

40名から始めた当会ですが、10年を迎え250名の会員を擁するようになりました。国家資格ができて、少しずつ学校も増えてきていますが、当県では、毎年、20～30名の新人言語聴覚士が誕生しています。

当会では、日本言語聴覚士協会の生涯学習基礎講座を就職1、2年目で取れるように研修会を企画しています。また、専門講座も本年度から、県内で開催できるようになりました。

言語聴覚療法の必要性の理解が広がるにつれて、各病院施設に複数の言語聴覚士が採用されるようになってきましたが、まだまだ、知られていないのが現状です。今年は、これから職業を選択する若い世代への言語聴覚障害および言語聴覚士の周知を目的とした啓発活動を推し進めていきたいと思っております。



中川信子先生（子どもの発達支援を考えるSTの会代表）講演会報告

昨年の11月30日（日）に小児聴覚・言語指導者連絡会と子どもサポートネットの共催で、中川信子先生においで頂き『ことばやコミュニケーションの発達を支援するSTの役割』というタイトルで御講演いただきました。県内の言語聴覚士を始め、OT、OTや療育関係者、学生など約70名の参加がありました。

《中川先生のレジュメより》

STは自身の持つ知識や技術のためにかえって目が曇りやすい傾向がありますが、STの本質は「対人援助職」。STの仕事は、人とあい対しての**相互関係**の中でしか実行されないという特徴を持っています。

対象者に（一方的な）「指導」や「訓練」を行う職種だとすると、STの仕事は、あまりにも味気ないと思います。

一人の対象者と出会い別れるたびに、相手によって、何ほどか成長させてもらえる。与えたつもりが、実は与えられている。人間として、日々成長できる……。それがSTの仕事の醍醐味ではないでしょうか。

失敗は学びのチャンス、と言います。なかなか分かってくれないように見えるてごわい相手と接する時こそ、STとして

の経験・キャリアの幅を広げ、人としての成長を促してくれる一番大切な学びの時間です。

前回よりも少しは成長できているか？ 少しは、まじな対応ができるようになったか？

そう思いつつ親子さんを部屋に迎え入れるときに、私にとって、いつも、一番新鮮で、緊張する瞬間です。

先生のお話の中で、特に印象に残った言葉を書き留めておきました。

☆ 子どもさんに個別指導で力を付けることも大切だけど、「今、ここでこうやっていることが生活の中でどう活かされるか」の視点を持って

☆ 親に頑張ってというだけでなく、周りで支えていく。親が子育てをしやすい環境づくり、一緒にやってみましょう、の気持ち

☆ 子どもは「自分と会っている時間以外の様々な場面で」色々な場所や人との関係の中で生きている。その子が色々な人の援助を受けられるような地域の関係づくり＝連帯の力もSTには必要

☆ 専門性を窓口として、生活の場で関わる人たち（ジェネラリスト）の力量を高め、共に協力して子どもを育てる営みにちょっとだけ関与できる人間。STは「つなぐ」役割を果たせる。

☆ お薦めの本 色々ありますが、是非読んで下さい。

『発達障害とことばの相談』小学館新書

「子どもの発達支援を考えるSTの会ホームページ」

<http://www.escor.co.jp/gr/kodomost/>

中川信子ホームページ そらとも広場

<http://www.soratomo.jp>

### 熊本県ひばり園

丸内春美

#### 【熊本市民健康フェスティバル報告】

日時：平成21年10月17日（土）10:00～16:30

平成21年10月18日（日）10:00～16:30

場所：鶴屋新館7階ホール

内容：聴力検査・相談、能力チェック

（瞬眼力、計算力）

在宅コーナー：嚙下チェック・相談

事業部部員以外の手伝い

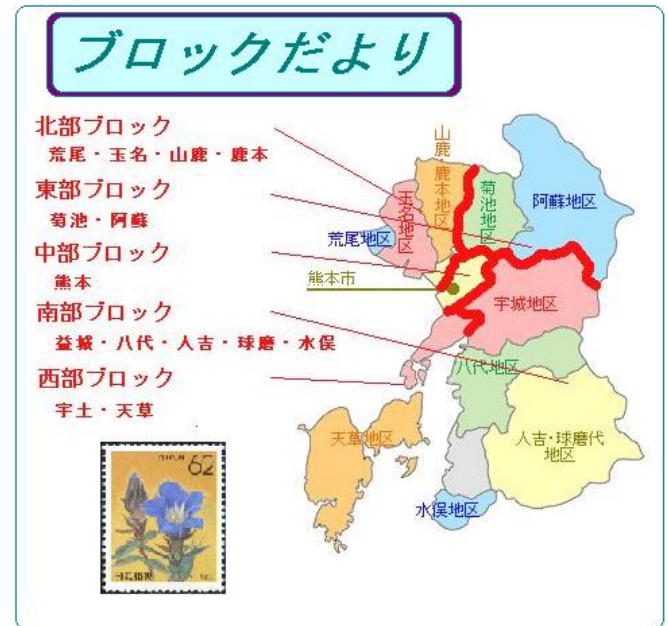
東部ブロックより 17日：10名、18日：11名

今年の当会ブースの来場者は、17日（土）：247

名、18日（日）：268名と昨年同様、盛況を頂きました。また、昨年の来場者の方から能力チェックに関して年齢別の評価はないのかとの質問がありました。そのため、今年は能力チェックの結果を年齢別に記録し、来年には年齢別の評価を行なえるようにデータ収集を行ないました。

### 熊本セントラル病院

重川 由香



#### 【北部ブロック報告】

玉名市健康福祉食育フェア参加において

平成21年11月15日に九州看護福祉大学で開催されました。今年は来場者も多く148名のお客さんが県士会のブースに来ました。脳力チェックとしてコース立方体やWA I Sのパズルの体験を実施しました。盛況に終わりました。相談としても小児に関すること（発達）、成人においては、飲み込みに関する事などの相談があり、スタッフが丁寧にアドバイスなどをしました。来年もがんばりたいと思います。最後に参加していただいた先生方お疲れ様でした。



ブロック長：悠紀会病院 山本 実

**[東部ブロック報告]**

今年度は勉強会を7月・11月に実施しました。  
 7施設の先生方より、話題提供や症例報告等を行って頂きました。  
 3月上旬には、来年度のブロック活動(勉強会等)に関するアンケートを実施する予定です。  
 当ブロックの先生方の意見を参考に、さらに実りある勉強会にしていきたいと思ひます。  
 今後とも宜しくお願い致します。

ブロック長：熊本リハビリテーション病院  
 山本 由佳

**[中部ブロック報告]**

今年度は7月、10月に勉強会(施設紹介、活動報告)を行い、12月に忘年会を行いました。いずれも、25名程度のご参加を頂いています。  
 今後も、意見交換や、技能向上のための場として活用していければと考えております。勉強会の方法や内容はよりよい方法を検討していきます。

ブロック長：東野病院 吉松 亜矢子

**[南部ブロック報告]**

南部ブロックでは定例の勉強会を下記の日程で開催します。今回は道関京子先生を講師にお招きし、2日間にわたり全体構造法についての研修会を行います。貴重な機会ですので多くの方のご参加をお待ちしています。

**【日時】**

平成22年2月27日(土)  
 14:30受付  
 15:00開始 ~ 18:00終了  
 2月28日(日)  
 9:00受付  
 9:30開始 ~ 16:30終了

**【場所】** 熊本回生会病院 リハ室

**【内容】** 全体構造法について  
 基礎理論、具体的手法の紹介、  
 ブローカ失語とウエルニッケ失語について等

**【講師】** 道関京子先生

**【参加費】** 4,000円

ブロック長：にしくまもと病院 中村 舞

**[西部ブロック報告]**

11月6日にメディカル・カレッジ青照館にて、西部ブロック勉強会を開催しました。  
 松原先生による嚥下障害の伝達講習で、最新の情報をご提供いただき、また活発な質問も飛び交い有意義な勉強会となりました。  
 11月20日には西部ブロック忘年会を開催しました。  
 1月22日には天草リハビリテーション研究会の新年会があり、PT、OTの先生方といろいろなお話ができて大変有意義な時間となりました。今後、天草地区でのネットワークを広げていければと思ひております。  
 次回西部ブロック勉強会を2月に予定しております。

ブロック長：楽洋の里 池田 聖司

**書籍紹介**



**【リハビリテーション栄養】**

• 発行年月:2010年1月

- ISBN978-4-263-21862-4
- 医歯薬出版:3150円
- NSTに関わるPT・OT・STの人数が増えているが、廃用症候群と解釈している患者が、実はマラスムス型や混合型の栄養障害のこともある。このような患者に安易に筋力トレーニングを行うと、かえって筋力が低下する可能性があるが、リハの知識をどのようにNSTや臨床栄養管理に活用していけばよいかの栄養の与える知識をわかりやすく解説して、適切で効果的なリハビリテーションについて解説している。



### 「地域リハビリテーション原論」

- 発行年月：2010年1月
- ISBN978-4-263-21338-4
- 医歯薬出版：1890円
- 地域リハとは何か、その本質と意義をわかりやすく説明するテキスト、廃止された機能訓練事業の今後と展望、介護予防とリハビリテーションのかわりなどの内容の改訂。図表も多く用いられている。

## 理事会議事録



### 第4回理事会

日時：2010年1月8日 19時

場所：菊南病院

出席者：小菌、三浦、丸内、山本（由）、重川、下田、池田、小堀、森崎、後藤、平ノ上、大津、森田、吉松、山本（実）、兼田、大塚、宮本

書記：宮本

#### 1. 報告事項

##### 1) 対外活動報告（会長）

- 11月7日8日 全国代表者会議（東京）

加入規則である7割ルールが撤廃  
一般社団法人化

##### • 訪問研修協議会

PT・OT・ST協力して研修していこうという提案

⇒月1回森崎理事、林理事、大津理事

熊本駅前看護リハビリテーション学院にて  
研修会予定(5月22日～6月の土日にかけて)  
修了証発行予定

講師は経験のあるPT・OT・STあるいは  
医師に依頼

2月27日 くまもと訪問リハ研究会の予定  
講師 北海道 言語聴覚士 高橋先生

##### • 第三回 医保福連携学会

3月14日（日） リハビリテーション部会  
STが担当（小菌会長・大津理事）

・NST世話人会

12月16日 連携学会出席（森崎理事）

PT・OT・ST・歯科衛生士・ケアマネジャー各職種のアピールを行うことによって連携を図る⇒お互いのニーズが聞ける場、STの広報

ST会⇒マイク係、照明係

・一ノ瀬たけしさん

アンビリーバボー1月14日出演予定

2. 各部局報告

<事務局>

・紀要予算について

来年度の予算に入れる（9万円）

・総会について

日時 平成22年 5月16日もしくは30日（日）

講師候補 検討してメールで相談

・医保福連携学会協賛金について

学会事務局より一口（1万）×5の希望あり⇒PT会OT会と調整を図る。

<事業部>

・熊本市健康フェスティバルについて

21年度の収支 赤字となっている

備品（ストップウォッチなど）を購入

⇒予算の検討（4万円の予定）

・脳力チェック

年齢別の平均を計測したので次年度から使用する

1. H21年度の収支について

	収入	支出
H20年度の繰越金	3,511	
H21年度予算	30,000	
健康フェスティバル 交通費		28,000 (28名× 1,000)
健康フェスティバル 準備・備品購入費		8,586
合計	33,511	36,586

※ ¥3,075の赤字

※準備費・購入費：コピー代、ストップウォッチ、

バインダー、文房具など

2. 健康フェスティバル能力チェックについて

【計算】

年齢	総数	平均（秒）
20～ 39	31名	64.3
40～ 59	41名	80
60～ 69	67名	94.6
70～ 79	94名	123.8
80～	36名	157.6

【瞬眼力】

年齢	総数	平均（秒）
20～ 39	36名	70.8
40～ 59	35名	76.5
60～ 69	63名	93.9
70～ 79	70名	109.4
80～	37名	141.3

※この結果を基に、来年の脳力チェックの評価を行う予定。

<研修部>

・昨年12月13日の学術研究発表会⇒

100名程度の参加あり

・平成21年度 生涯学習専門・基礎講座

日時：平成22年2月14日12時半受付

内容

専門講座

「失語症以外の高次脳機能障害」

講師：佐藤 睦子先生

基礎講座

「協会の役割と機構」兼田洋美氏

「研究法」宮本恵美氏

場所：熊本駅前看護リハビリテーション学院  
会費

(専門講座) 会員 2000円 非会員 3000円

(基礎講座) 会員 500円 非会員 1000円

その他部局より

### <広報部>

- ・高校への広報活動 高校をリストアップ春から活動予定。熊本市の高校を主体
- ・県士会のホームページ  
施設情報の中に小児・成人・訪問など掲載してほしいとの問い合わせあり

### <保険部>

- ・ホームページに保険に関するQ&Aを載せた

### <財務部>

- ・11月末 未納者リスト作成  
半分程度集まったが完了はしていない  
(北部・中部・西部・南部 17名)  
最終締め切り1月末

## 3.各ブロック報告

### 東部ブロック

勉強会

### 西部ブロック

1月 新年会 2月 勉強会

### 南部ブロック

- ・勉強会

日時 2月27日(土)

14:30 受付開始 15:00~18:00

2月28日(日)

9:00 受付 9:30~16:30

場所:熊本回生会病院 リハ室

内容:全体構造法について

基礎理論、具体的手法の紹介、ブローカ失語とウェルニッケ失語について

講師:道関京子先生

参加費:4000円

懇親会予定

- ・ブロック長⇒森田理事へ

### 北部ブロック

- ・平成21年度玉名市健康食育福祉フェア

平成21年11月15日(日)

STスタッフ8名 参加者148名

- ・新年会 1月26日 予定

## 中央ブロック

- ・12月 忘年会
- ・3月 勉強会予定

### 3.その他

- ・くまもとSTシルバーサポートネット

日時:平成22年2月20日(土)

午後7時~9時

場所:朝日野総合病院 新北棟2階

さんぼーる

熊本市室園町12-10

TEL 096-344-3000

内容:活動報告

「訪問リハにおける地域連携の重要性とその方法」

御幸病院 林亜星氏

「当法人における嚥下障害に対する意識調査」

北部脳神経・神経内科 飯村知己氏

茶話会

参加費:無料

- ・摂食・嚥下ネットワーク研究会

日時:平成22年3月10日

「誤嚥性肺炎について」

場所:未定

講師:日赤病院 前田紗知氏

- ・小児サポートネット合同研修会

2009年11月29日

中川信子先生 講演会

2月例会

日時:2010年2月6日(土)

講師:児童デイサービスおひさまクラブ園田先生

児童デイサービス・個別支援計画⇒地域支援をテーマに研修会予定

年会5回研修会修了

- ・くまもとSTこどもサポートNET定例会

2010年1月30日(土)

場所:熊本駅前看護リハビリテーション学院

参加費:500円

講師:桜十字病院

言語聴覚士 斉藤香津子氏

内容:「桜十字病院での小児療育の取り組み」

- ・DVDの作成について

情報メディアセンターから、もう少し長く(約30分程度に)してはどうかとの提案があった。

・異動について

重川理事、中村ブロック長⇒退職のため辞任  
次回理事会予定

4月2日（金） 菊南病院 言語療法室

発行：熊本県言語聴覚士会

事務局：菊南病院（Tel.096-344-1711）

〒861-5513 熊本市鶴羽田町 685

広報部：宇賀岳病院（Tel.0964-32-3111）

部長：平ノ上 隆康

編集：メディカル・カレッジ青照館

（Tel.0964-54-2211）

編集責任者：小堀 晶弘